

最近の家計消費の特徴的な動き

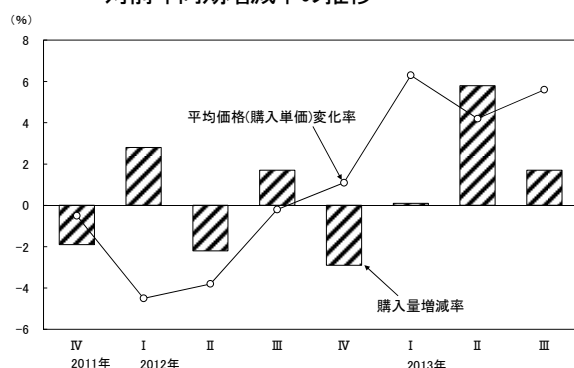
家計調査 家計収支編・二人以上の世帯 平成25年(2013年)7～9月期平均結果から

1 消費者マインドの改善が購入増加に寄与したとみられている品目

① 牛肉

2013年7～9月期の牛肉の購入量は、前年同期に比べ1.7%の増加となり、1～3月期以降3期連続の増加となった。また、平均購入単価も、前年同期に比べ5.6%の増加と、2012年10～12月期以降4期連続の増加となっており、前年に比べより高額な牛肉を購入しているとみられる(図1)。

図1 牛肉の四半期別購入量の対前年同期増減率の推移

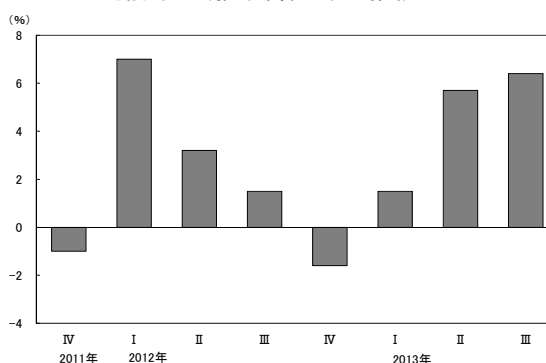


注) Iは1～3月期、IIは4～6月期、IIIは7～9月期、IVは10～12月期を表す。以下同じ。

② 一般外食

2013年7～9月期の一般外食の支出金額は、前年同期に比べ実質6.4%の増加となり、1～3月期以降3期連続の実質増加となった(図2)。

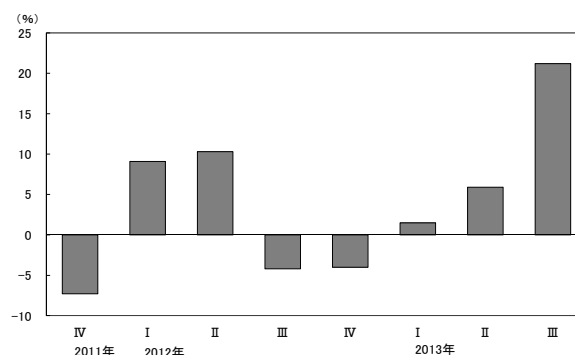
図2 一般外食の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移



③ 飲酒代

2013年7～9月期の飲酒代の支出金額は、前年同期に比べ実質21.2%の増加となり、1～3月期以降3期連続の実質増加となった(図3)。

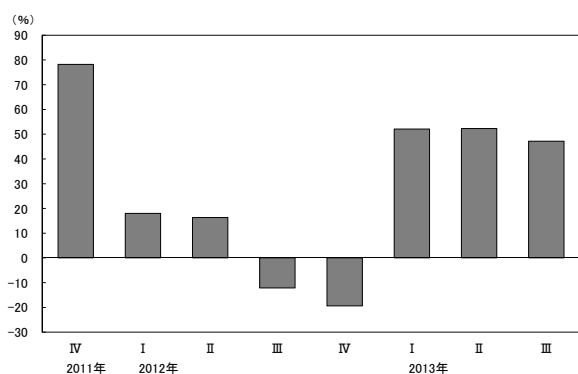
図3 飲酒代の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移



④ 電気掃除機

電気掃除機はロボット型などの高額な掃除機の販売が増えていることもあり、2013年7～9月期の支出金額は、前年同期に比べ実質47.2%の増加となり、1～3月期以降3期連続の実質増加となった(図4)。

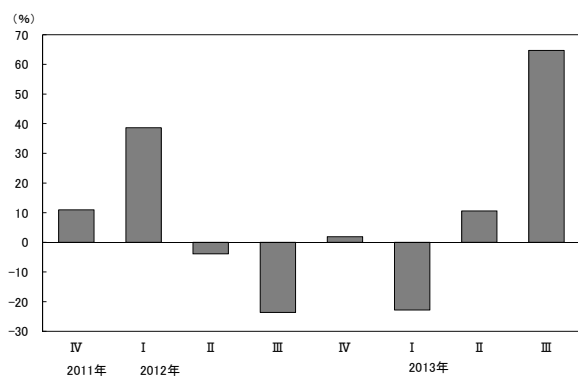
図4 電気掃除機の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移



⑤ 炊事用電気器具

炊事用電気器具は、高機能で高額な炊飯器の販売が増えていることもあり、2013年7～9月期の支出金額は、前年同期に比べ実質64.7%の増加となり、4～6月期以降2期連続の実質増加となった(図5)。

図5 炊事用電気器具の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移



⑥ 国内パック旅行費及び宿泊料

2013年7～9月期の国内パック旅行費の支出金額は、前年同期に比べ実質19.5%の増加となり、4～7月期以降2期連続の実質増加となった(図6)。

また、宿泊料についても、2013年7～9月期の支出金額は、前年同期に比べ実質3.9%の増加となり、2012年10～12月期以降4期連続の増加となった(図7)。

図6 国内パック旅行費の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移

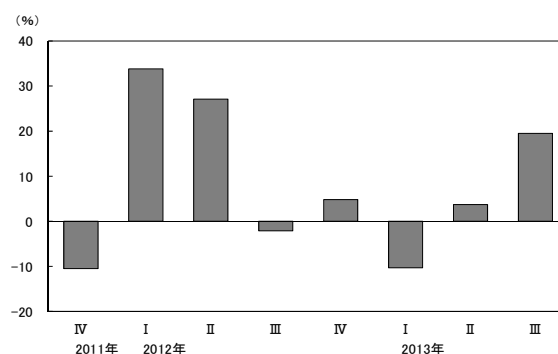
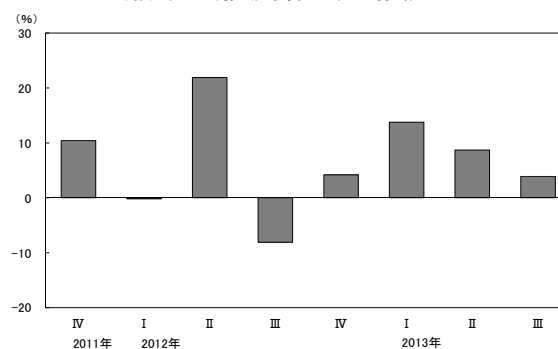


図7 宿泊料の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移

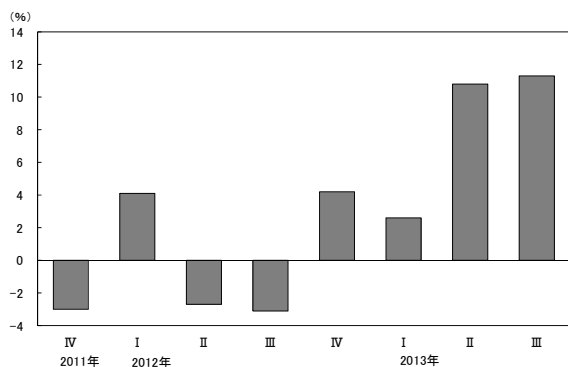


※一般外食、国内パック旅行費及び宿泊料については、東日本大震災の影響で、2012年1～3月期及び4～6月期に反動による増加がみられる。

⑦ 婦人用洋服

2013年7～9月期の婦人用洋服の支出金額は、前年同期に比べ実質11.3%の増加となり、2012年10～12月期以降4期連続の実質増加となった（図8）。

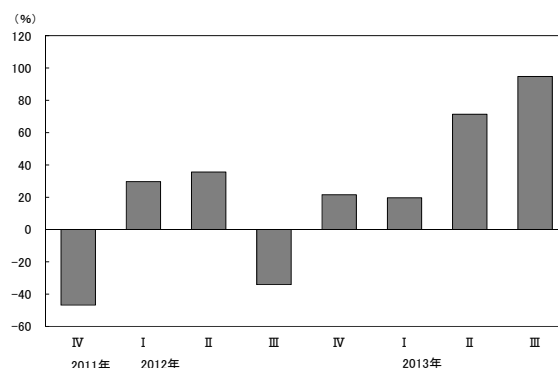
図8 婦人用洋服の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移



⑨ 腕時計

2013年7～9月期の腕時計の支出金額は、前年同期に比べ実質94.7%の増加となり、2012年10～12月期以降4期連続の実質増加となった（図10）。

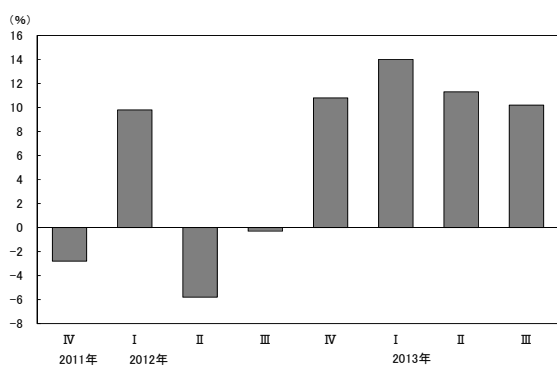
図10 腕時計の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移



⑧ 婦人靴

婦人靴は、婦人用洋服とともに好調に推移し、2013年7～9月期の支出金額は、前年同期に比べ実質10.2%の増加となり、2012年10～12月期以降4期連続の実質増加となった（図9）。

図9 婦人靴の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移

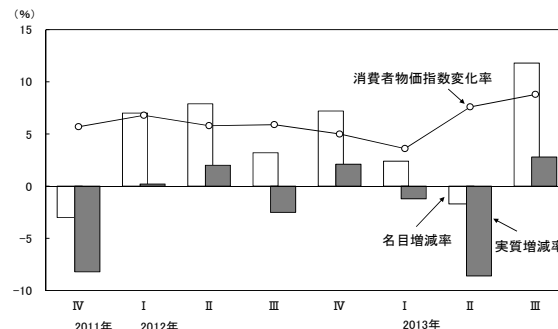


2 猛暑や台風などの天候不順が寄与したとみられている品目

① 電気代

電気代は、円安に伴う燃料価格の上昇などによる電力各社での料金値上げが続いている影響で節約意識が高まっていると見られ、実質では減少傾向となっていたが、2013年7～9月期では、気温が平年より高かったことなどから、支出金額は前年同期に比べ実質2.8%の増加となり、2012年10～12月期以来3期ぶりの実質増加となった（図11）。

図11 電気代の四半期別支出金額の対前年同期増減率の推移

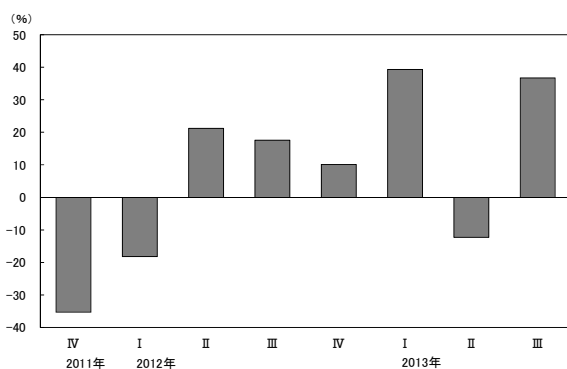


注) 家計調査では、電気代等の支払金額については、請求やメーターの検針があった日ではなく、調査世帯が実際に支払った日(口座振替の場合は口座振替日)に家計簿に記入される。したがって、利用(購入)月と支払月に違いがあるため、結果をみる際は注意が必要である。

② エアコンディショナ

2013年7～9月期のエアコンディショナの支出金額は、前年同期に比べ実質36.7%の増加となり、1～3月期以来2期ぶりの実質増加となった(図12)。

図12 エアコンディショナの四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移



③ 生鮮野菜

猛暑や台風などの天候不順の影響で、2013年7～9月期は生鮮野菜の価格が高騰した。生鮮野菜の消費者物価指数の動きを見ると、2013年7～9月期は前年同期と比べ9.7%の上昇となっている。

2013年7～9月期の生鮮野菜の支出金額は、価格の上昇による買い控えなどもあり、前年同期に比べ実質2.0%の減少となり、2012年4～6月期以来5期ぶりの実質減少となった(図13)。

また、生鮮野菜のうち価格上昇が大きかった品目について見ると、以下の通りとなっている(表)。

図13 生鮮野菜の四半期別支出金額の対前年同期増減率の推移

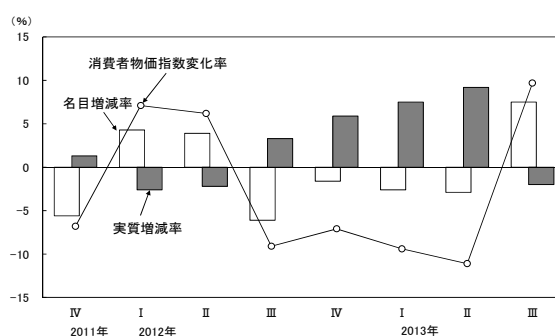


表 生鮮野菜の品目別支出金額及び購入量の対前年同期増減率

品目名	名目	実質	購入量	消費者物価指数変化率 (%)
生鮮野菜	7.5	-2.0	-1.0	9.7
キャベツ	33.3	-3.6	-0.1	38.3
レタス	19.8	-7.1	-5.0	29.0
だいこん	15.2	-7.5	-6.6	24.6
きゅうり	9.1	-12.8	-12.1	25.1
ピーマン	9.0	-10.9	-4.4	22.4